

導入製品 AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)

2023年9月導入

デジタル田園都市国家構想交付金を活用。議事録の公開を迅速化し、より開かれた行政を実現



※ 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2024」

導入のポイント

課題

委員会や町長部局の会議などの議事録は作成できていなかった

音声認識システムはクラウドサービスが多く、セキュリティ面での懸念があった

効果

議事録の公開を迅速化し、より多くの情報を提供できるように

インターネット接続なしでも利用できるため、情報漏洩の心配がない

Customer Profile



群馬県 吉岡町役場 様
所在地：群馬県吉岡町
町長：柴崎 徳一郎
職員数：146名 (令和6年2月時点)

情報発信が限定的な点が課題

吉岡町は、「住民がともに進めるまちづくり」を目標に掲げ、住民主体のまちづくり活動を積極的に推進しています。協働のまちづくりには、行政からの情報発信が必要です。そのため議会の本会議の会議録を作成し、公開していますが、委員会や町長部局の会議などの議事録は作成できていませんでした。十分な情報発信がなされているとは言えない状況であったため、音声認識システムを導入し、町の取組を速やかに分かりやすく発信・公開できる仕組みを構築することとしました。



インターネット接続なしで利用できる

導入の検討にあたり、役場のセキュリティ環境との親和性を考える必要がありました。多くの音声認識システムはクラウドサービスのため、セキュリティ面での懸念がありました。その一方で、「AmiVoice ScribeAssist」はインターネット接続なしでも利用できるため、情報漏洩の心配がなく、LGWAN環境においても導入への負担が少なく済むのがメリットだと感じました。また、USBキーライセンスにすることで端末を固定せずに利用でき、セキュリティ環境との親和性も高いことから導入を決定しました。既に多くの会議で活用していますが、AI技術の進化に驚いています。

デジタル田園都市国家構想交付金を活用

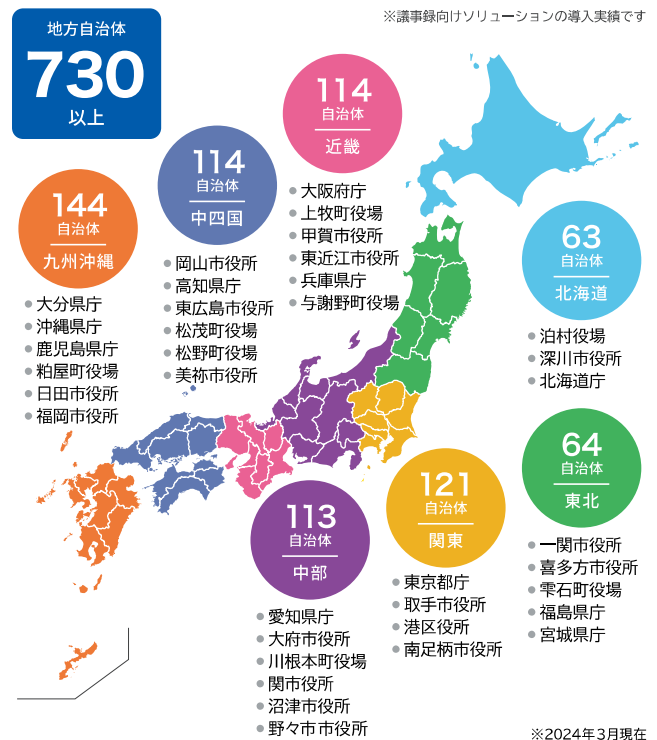
導入にあたり、デジタル田園都市国家構想交付金を活用しました。デジタル田園都市国家構想交付金とは、デジタル化で地方へのヒト・モノ・カネの流れを創り、都市との格差解消を推進するような地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取り組みを支援する交付金です。

情報発信を迅速化し開かれた行政を実現

「AmiVoice ScribeAssist」を活用することで、議事録の公開を迅速化することはもちろん、現在議事録を作成できていない会議についても議事録を作成できるようになります。これによって、より早く、より多くの情報を提供し、より開かれた行政を実現していきます。



導入実績



製品情報

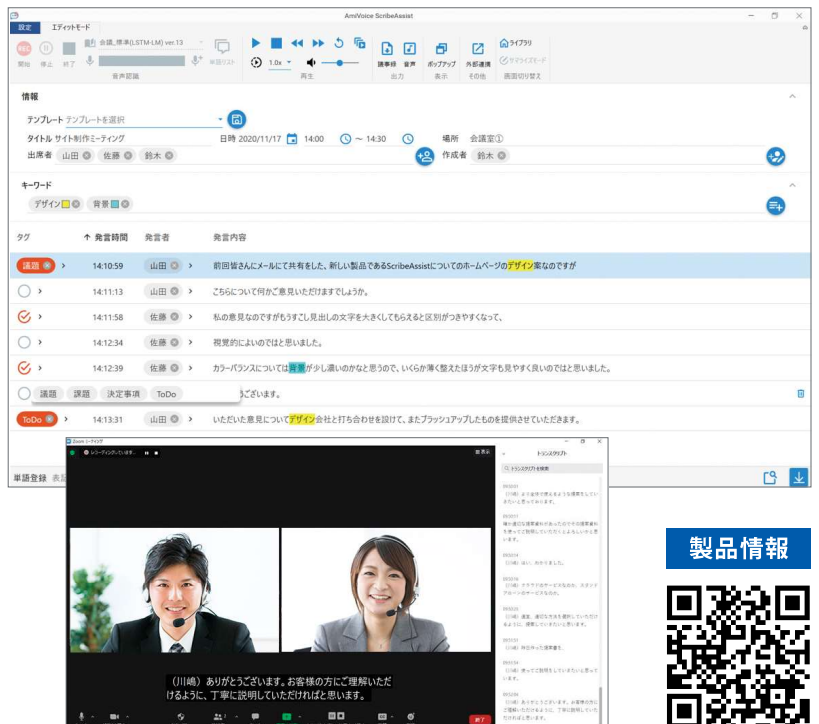
● AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)

音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。

スタンドアロン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。

リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。

ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる手間を大幅に削減します。



(販売代理店)



※弊社は(財)日本情報処理開発協会により、個人情報を適切に取り扱っている事業者であることを示す「プライバシーマーク」の付与認定を受けています。



(開発・発売元)

株式会社アドバンスト・メディア
VoXT (ボクスト) 事業部

〒170-6042

東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F

URL : <http://www.advanced-media.co.jp/>

Mail : voxt-info@advanced-media.co.jp